

ポストコロナにおける
地域介護人材について



介護現場から見る外国人
介護人材の活用と課題

株式会社リエイ
人財開発部 小石川高士

Part.1

日本国内 労働人口と介護人材状況

Part.2

日本国内 外国人介護人材状況

Part.3

外国人介護人材の活躍状況と課題

Part.4

まとめ

Part.1

日本国内
労働人口と
介護人材状況

年13万人が●●...

2025年までに32万人の
●●を増やさなければ...



日本国内の労働力人口は、直近2年間で
年平均13万人減少しているんだ...

- ・ **2020年 ▲18万人**
- ・ **2021年 ▲8万人**

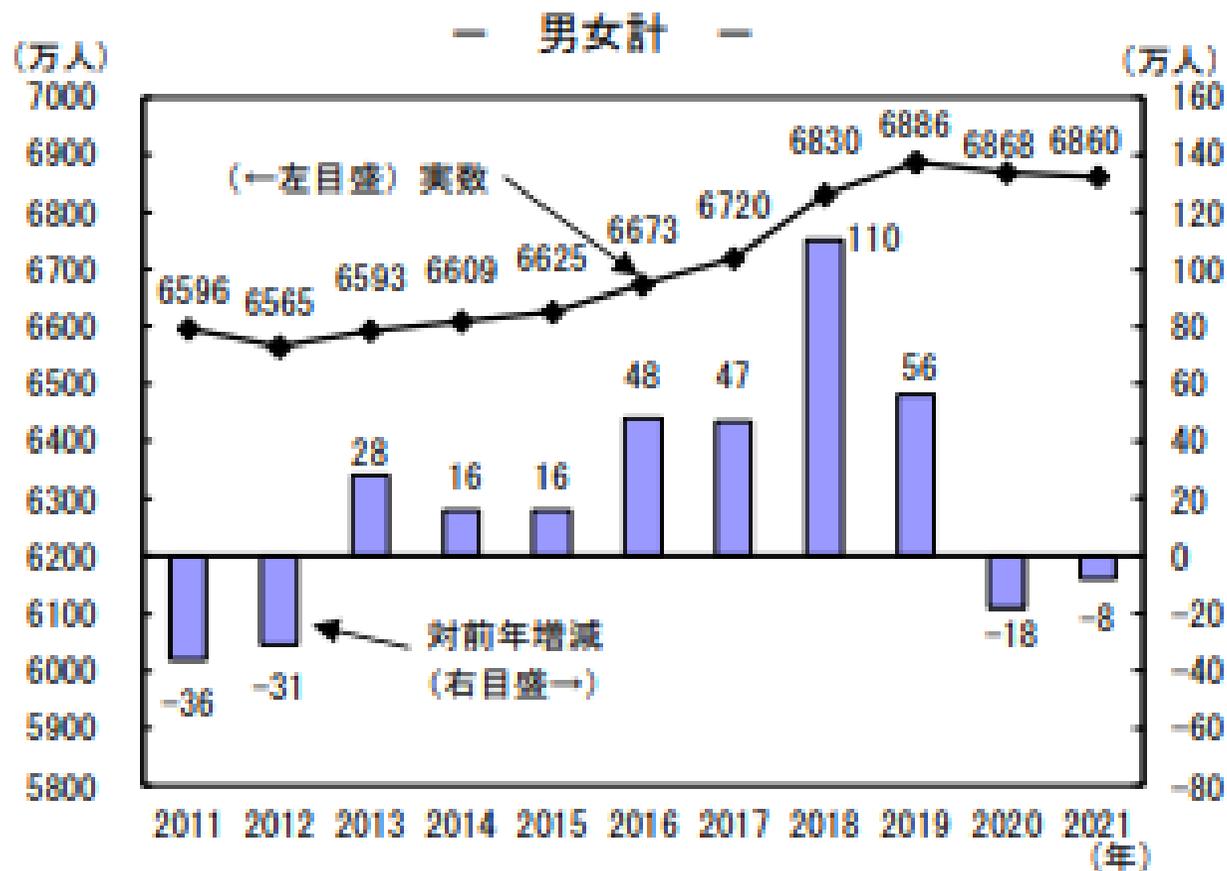
2019年より2025年までに介護人材を
32万人増やさなければ安定的な介護
サービスを提供できなくなるんだ...

- ・ **2019年 介護人材211万人**
- ・ **2025年 介護人材243万人**



Part.1 日本国内 労働人口と介護人材状況

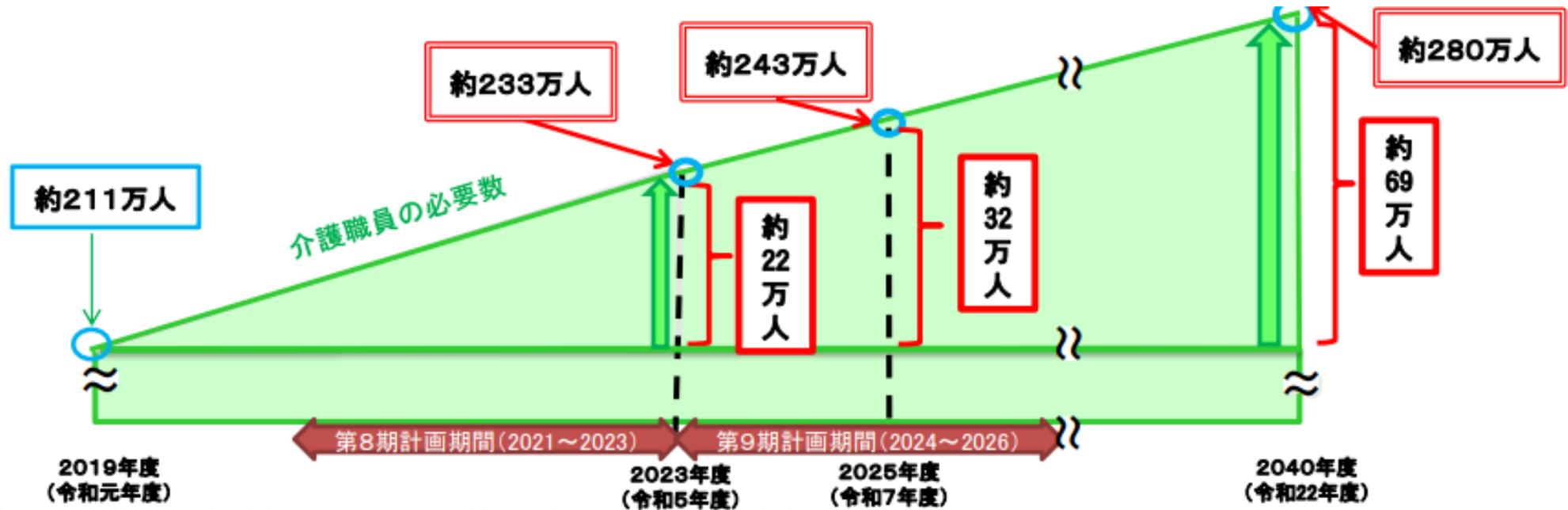
日本の労働力人口（全産業）は**2020年▲18万人**、**2021年▲8万人** **減少**している



総務省 統計局 発表資料より

Part.1 日本国内 労働人口と介護人材状況

団塊の世代が後期高齢者となる2025年度には**243万人の介護人材の確保が必要**



厚生労働省 発表資料より

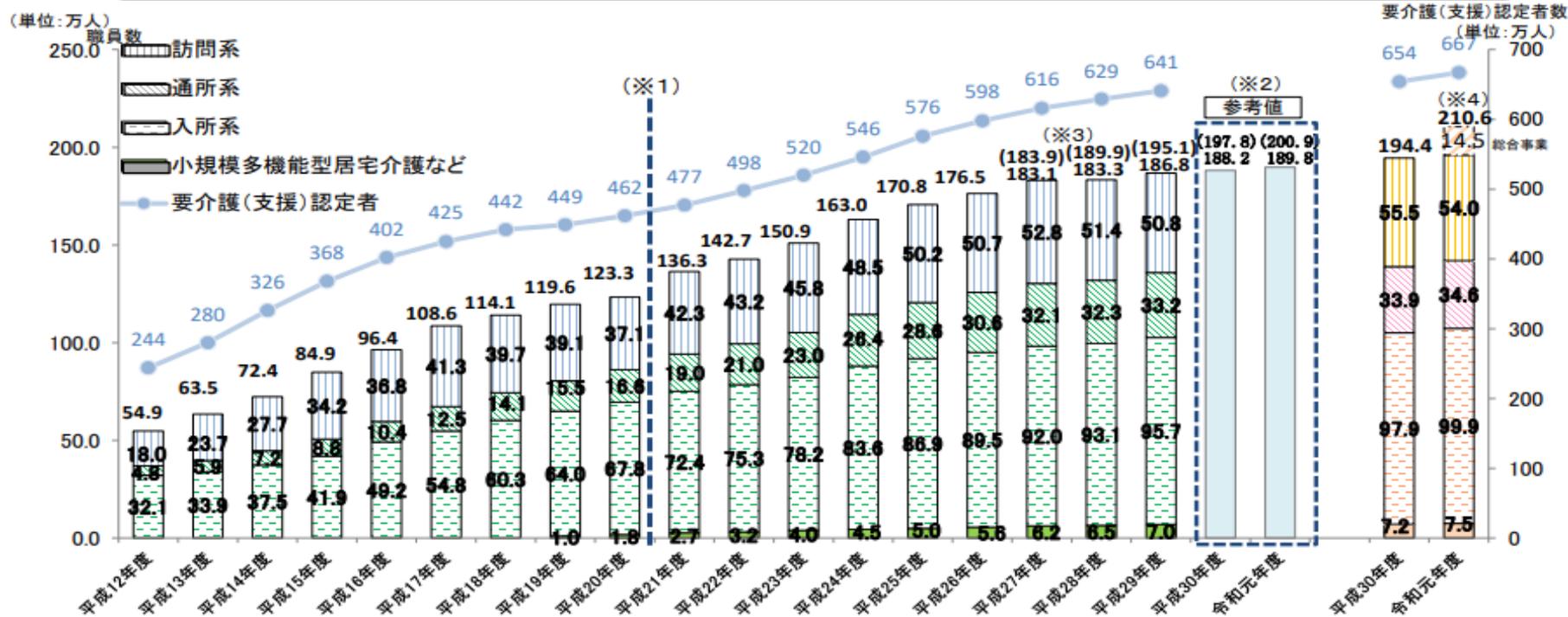
Part.1 日本国内 労働人口と介護人材状況

介護保険がスタートした

2000年（平成12年）→**55万人**の介護スタッフが就労

2019年（令和元年）→**211万人**の介護スタッフが従事

※**毎年8万人増**の介護スタッフを確保してきた。



厚生労働省 発表資料より

Part.2

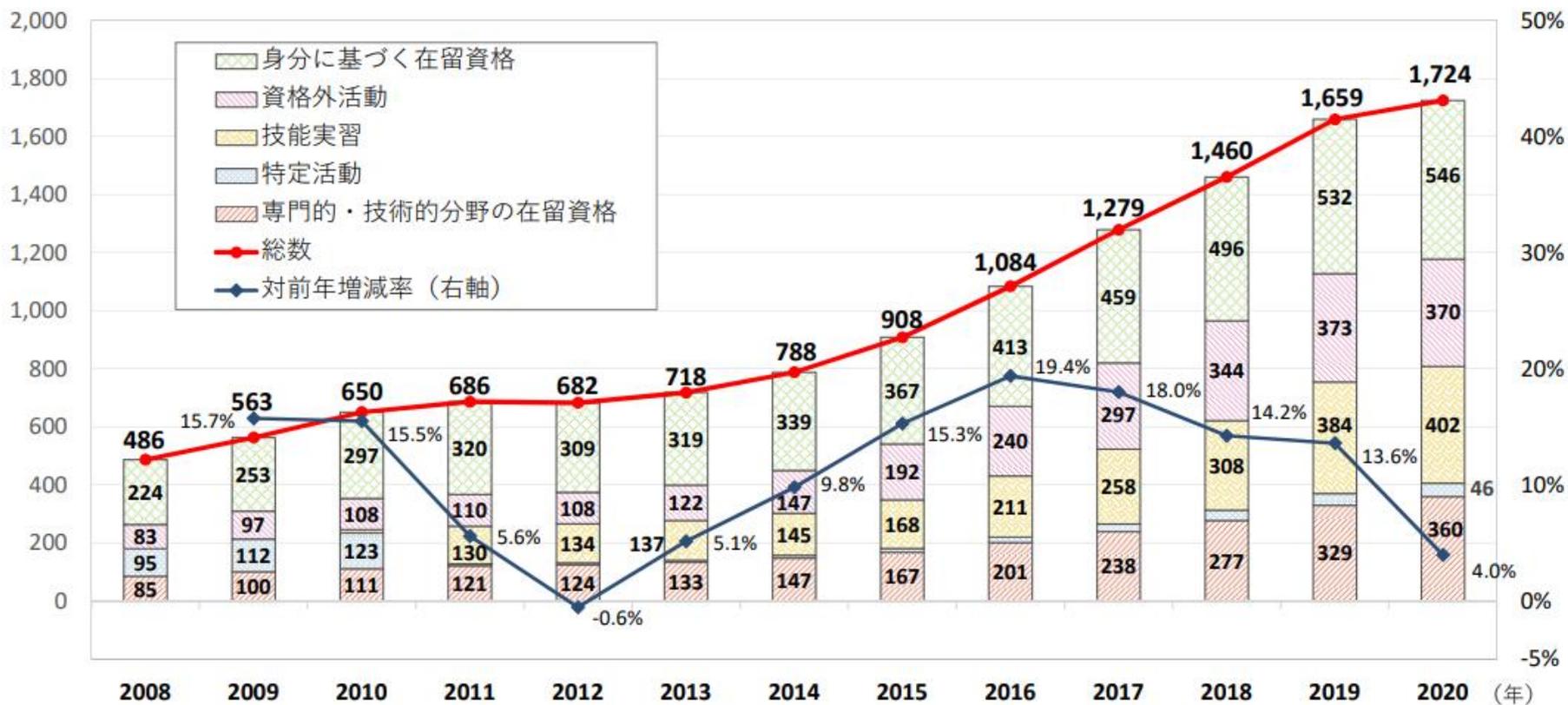
日本国内の外国人 介護人材状況

Part.2 日本国内の外国人介護人材状況

2020年時点…日本国内の外国人労働者172万人。

**このうち特定技能労働者は
4万6千人（全体の2%）**

（単位：千人）

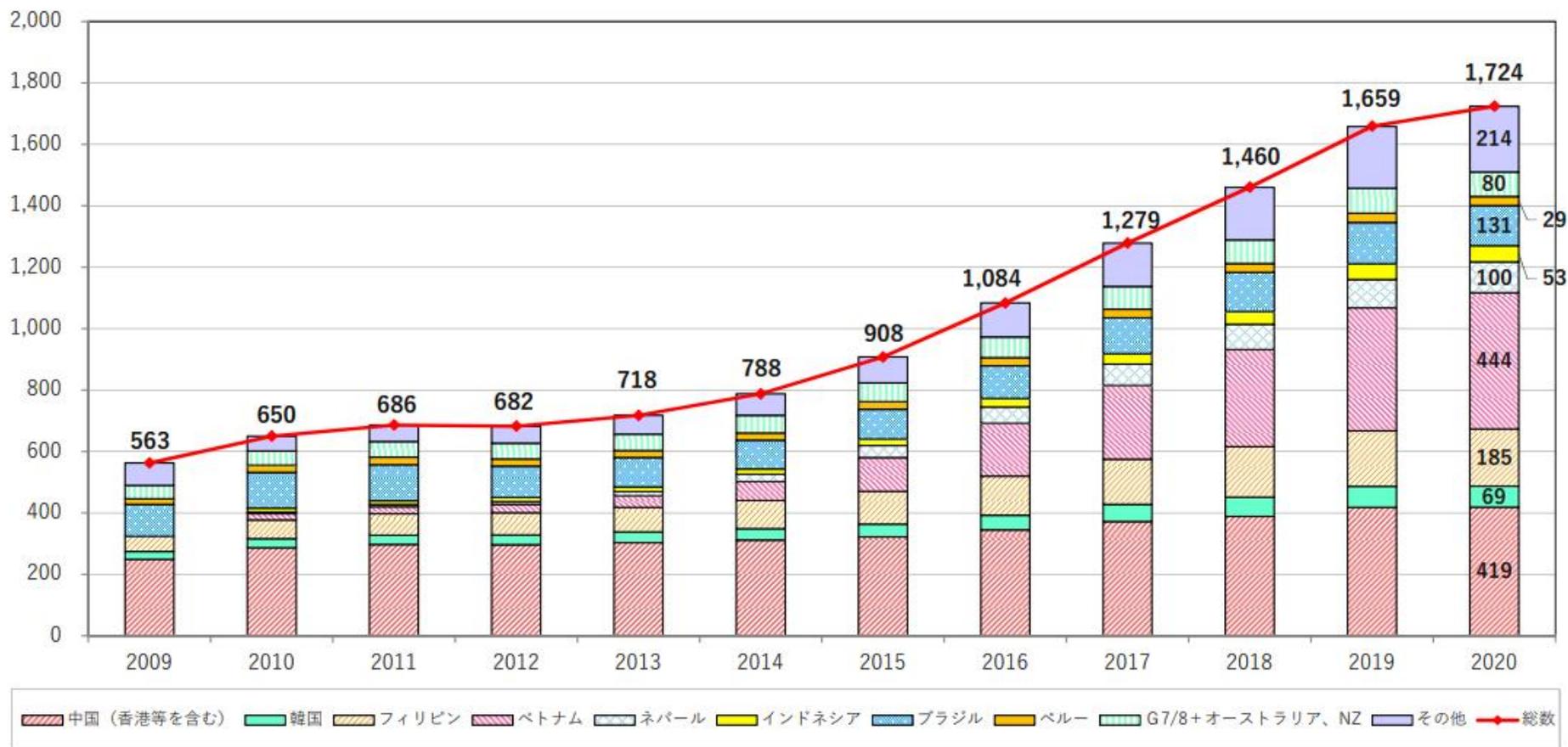


厚生労働省 発表資料より

Part.2 日本国内の外国人介護人材状況

国籍別にみると、ベトナムが最も多く444,000人で、外国人労働者全体の25.7%を占めている。次いで中国が419,000人(同24.3%)、フィリピンが184,000人(同10.7%)の順となっている。

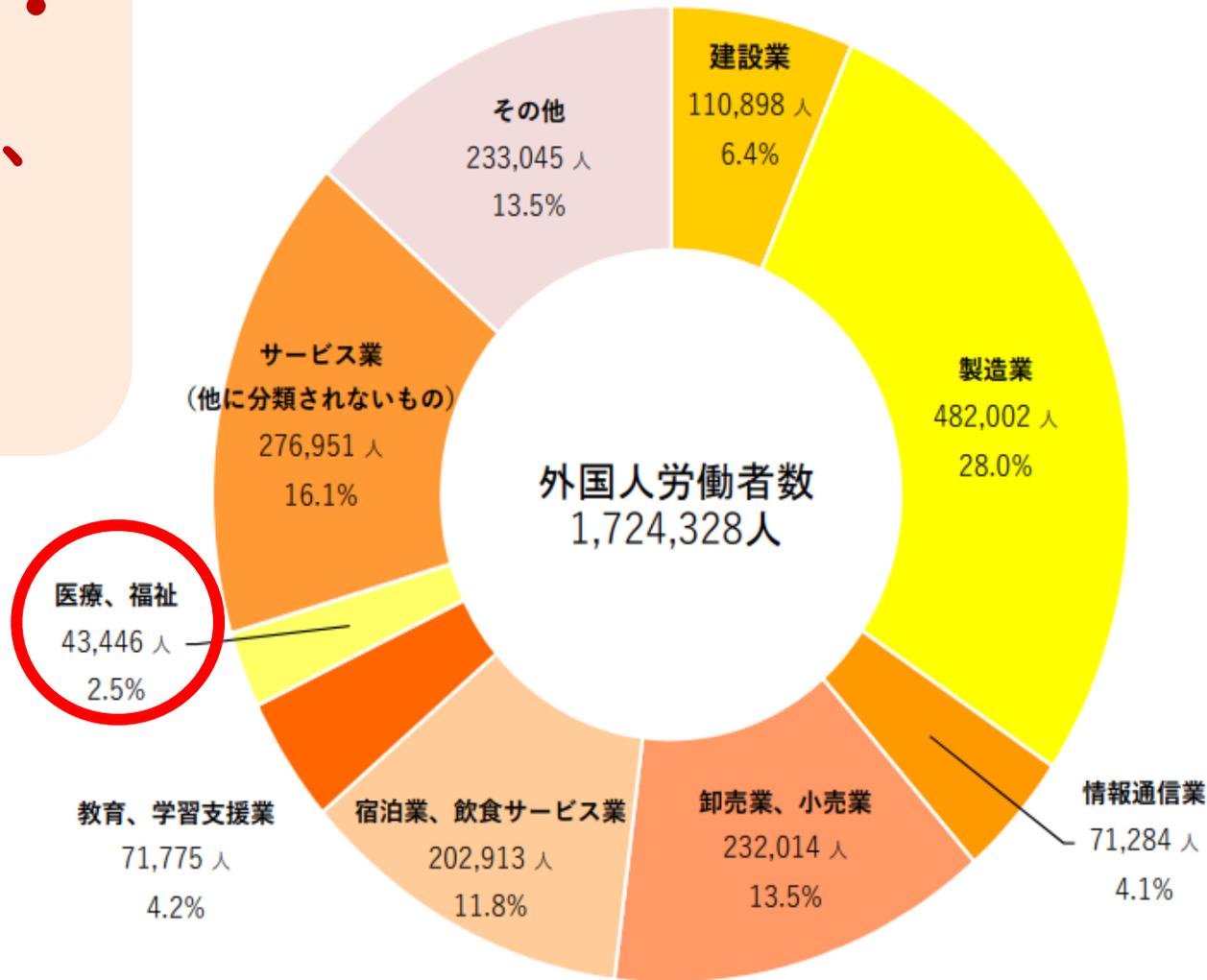
(単位：千人)



厚生労働省 発表資料より

Part.2 日本国内の外国人介護人材状況

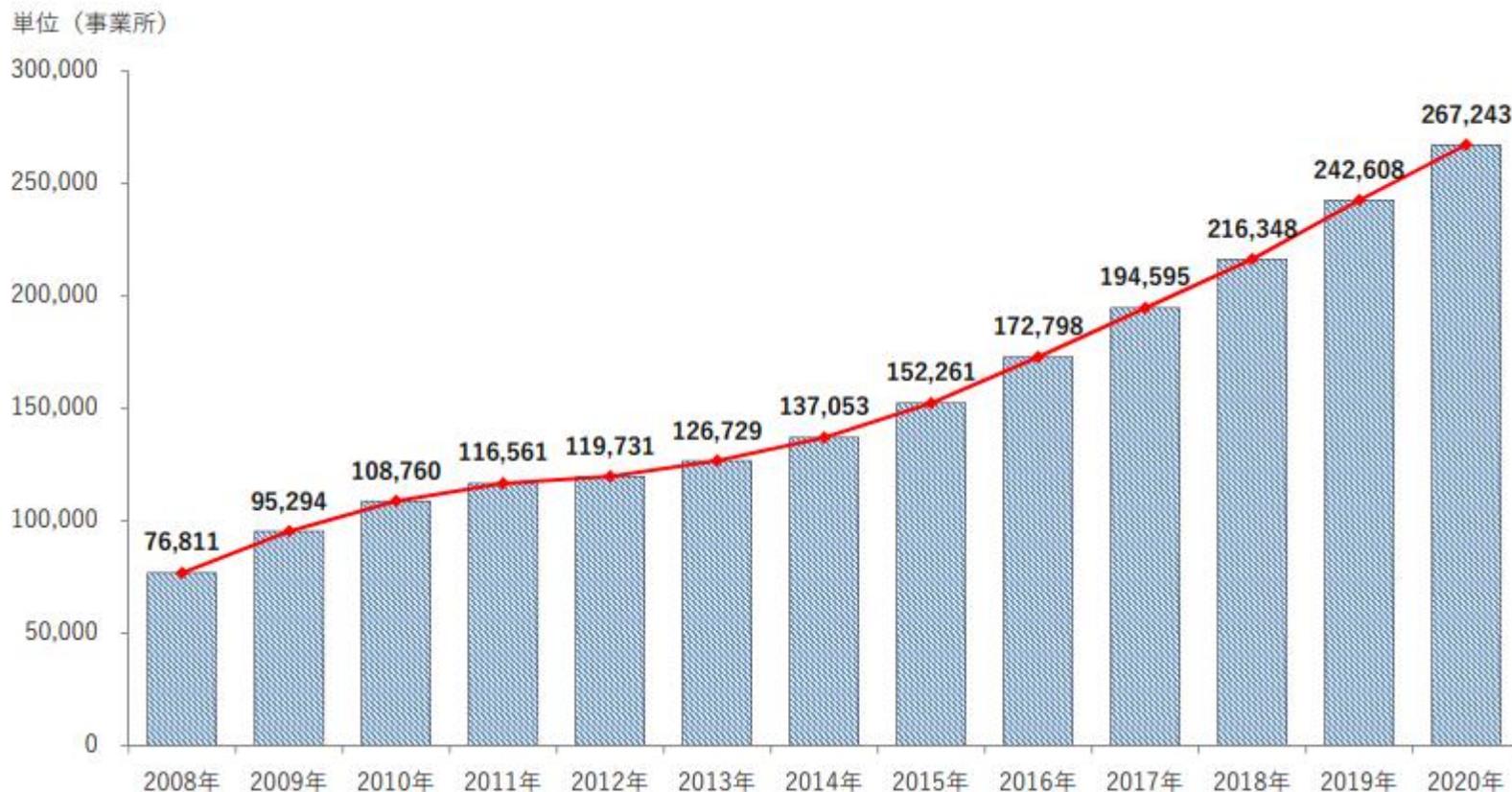
日本国内における医療・
介護分野の就労者数は、
43,000人。
全産業の2.5%余り。



厚生労働省 発表資料より

Part.2 日本国内の外国人介護人材状況

- 外国人を雇用する事業所数は、2020年10月末時点で過去最高の267,243か所。
- 特に2014年以降は、毎年約2万事業所ペースで増加。



厚生労働省 発表資料より

Part.3

外国人介護人材の
活躍状況と課題

外国人介護スタッフ・インタビュー

出身国 : タイ王国
年 齢 : 25才男性
在留ビザ : 特定技能1号
入社日 : 2022年4月
勤務歴 : 5か月
滞在歴 : 1年6ヵ月

外国人介護スタッフ・インタビュー

出身国 : ミャンマー人

年齢 : 28才男性

在留ビザ : 特定技能

入社日 : 2022年4月

勤務歴 : 5か月

滞在歴 : 4年8ヵ月

Part.3 外国人介護人材の活躍状況と課題

- 介護職員数の確保が日本人より容易にできる。
- 真面目で意欲の高い人材であり、かつホスピタリティー力が高い。
- 異文化交流のレクレーションを開催できる。
- 既存スタッフヘダイバシティー意識を高めることが出来る。



- 採用にあたり制度や条件の違いが複雑。
- 言葉の壁から戦力化には時間がかかる。
- 生活面において365日のフォローが必要になる。
- 技能実習ビザや特定技能ビザの場合、訪問系の介護サービスへ就労できない。

Part.4

まとめ

今後、介護業界はより深刻な人材不足に直面します。生産年齢人口はどんどん減り、どの業界でも人の奪い合いがはじまります。

その中でも特に3Kと言われる介護業界は、敬遠されやすい職種です。既に遅いかもかもしれませんが、今すぐ介護人材確保の対策をしなければ、日本の介護保険サービスが提供できなくなり崩壊するかもしれません。

その問題解消法のひとつが、外国人の雇用となります。

株式会社リエイ

創 業：1972年（50年）

介護施設：国内**50施設**／91サービス
海外**2拠点**

従業員数：4,100名

外国人スタッフ数：**68名**

お問い合わせ先：047-355-8181

ご清聴ありがとうございました



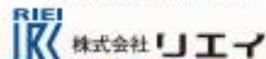
介護を快護へ

弊社は食を事業に1972年より歩みをはじめ、1980年の法人化を経て福利厚生施設運営や施設内の給食など、食に関する様々な運営ニーズに対応してまいりました。全事業を通じて提供してきたリエイの給食力は、グループ全体で年間約1300万食、フードサービスのエキスパートとして 着実に実績を重ねてきた生活サービス企業です。

2030年介護事業参入以来、介護を高齢者の方々のための快適な生活サービスと捉え、「介護を快護へ」をテーマに、すべてのお客様に「癒し」あふれる快適な暮らしを提供しております。「癒しと食のおもてなし」をサービスの基本として、日本全国及びアジアを中心にグローバルに展開し、おかげさまで創立以来 着実な成長を続けております。

コンシューム総丸は、日本の先進的な介護を具現化したコンシューム総丸に続く、「アジア圏モデル第2弾」としての役割も担っております。

食と介護の生活サービス



【国内】本社・大阪・名古屋・札幌・福岡・横浜
【海外】中国（北京・上海・成都・広州）/ シンガポール

リエイのCM 絶賛放映中!
CMもご覧ください
riei.co.jp/cm/

癒しと食の介護

タイ施設から得た癒しのサービス“ロイヤルセラピー”食を根拠として全事業に日々実感を積み重ねてきたフードサービス高齢者のための快適な生活を支える「癒しと食の介護」をテーマに取り組んでおります。



約1300万食

介護施設給食

創立以来、企業・学校・医療の食費、療養などを合わせたリエイグループ全体の年間給食数は既に約1300万食をご提供しています。食と介護の実績を基にしたリエイの介護給食は、自社の介護施設に限らず、フードサービス事業が運営する外部の介護施設にも取り入れられています。



1009名

介護人材育成

介護職員初任者研修1000名への養成実績を持つ弊社は、様々な研修や資格支援を推進しています。リエイの企業理念や方針を浸透させることにより、職員一人ひとりが仕事を通じて成長に貢献していること、また全ての利用者様に押し「おもてなし」の心が伝わるよう、人材育成に力を注いでいます。
2020年1月 - 2022年4月末



国内90事業所

介護事業

弊社の介護事業は、2000年4月の介護保険制度施行と同時にスタートし、常に進化を続けることに向けて新しい形の介護を追求しています。全国で50拠点、90事業所に展開中です。



海外5拠点

海外事業

海外拠点は現在5拠点。日本の介護をアジアに広げるヘルスケア・生活サービスをアジア各国の人々へお届けしています。施設運営・人材教育・コンサメチングからフードサービスまで幅広く展開しています。

